

年末の交通事故防止

みんなで明るい正月を

いよいよ年末を過ぎ、一年間の総じめくくりとして一段とあわただしさを加えて町は歳末の商品の大売出し、クリスマスセールがふたをあけ、物資を運ぶ自動車の往来や歩行者の通行がはげしくなつてきました。

このように年末年始には交通事故がいちばんふえるときです。

こしと11月30日までの加治木警察署管内の交通事故は一六二件で死んだ人三人けがをした人一一五人で、これを昨年の同じ時期にくらべますと件数で約二倍となつており最近にいたつてはとくにひん發生重傷や死亡する人が日増しにふえてています。

みなさん、そこで次のことをしつかり守つて交通事故防止と安全にご協力ください。

◎酒を飲んでからの運転は絶対にしない。

また車を運転しようとする人には酒をすすめない。

◎交差点、まがりかどなどで毎年全國的に実施される「人権週間」です。

これは今から十六年前の十二月十日第三回国際連合総会で世界人権宣言が採択されたのを記念して、人権尊重の考えを高めようとするもので、国民にとつて極めて大事な行事です。

わが国では憲法で、基本的個人権は侵すことのできない永久の権利としてこれを保障しております、また世界人権宣言で

は世界各国の人民は人権、性別、言語、宗教信条等の別なく、だれもが人権社会の構成員として、また人間としての尊厳、及び価値において平等であつて譲ることのできない権利を有していることを認め、それが世界平和とそして人類の自由、正義と幸福追及の

は、スピードを落し注意して運転する。

- ◎横断歩道を歩行者が渡つているときや、渡ろうとしているときは、いつたん止つて歩行者の通行をさまたげない。
- ◎踏切では必ずいつたん止り、左右の安全を確かめてから進行する。

特に、年末年始は臨時列車の増發で、ダイヤが乱れるので注意する。

- ◎幼児、児童がひとり歩きをしているときは、とくにその子どもの動静に注意し、いつたん止るか徐行して進行する。
- ◎歩道のあるところでは必ず歩道を。
- ◎道路を横切るときは、ワンで右を見る。
- ツーで左を見る。

スリーでもう一度右を見て安全であることを確かめてゴード道路をまつすぐには横切る。

- ◎横断歩道が近くにある場合は、少し位い遠まわりでも必ず横断歩道を、手をあげ運転ための基礎をなすものであるといつておるのである。
- このように人権は尊重されねばならないのに、わが国の現状はどうでしようか。
- 社会に家庭に、お互いの権利が充分に守られているか、また幸福な生活が営まれているか、寒心に堪えないものがあります。

◎使用者は運転者にめいていたり、運転、過効運転、無免許運転、乗車、積載違反などを命じ、あるいは容認しない。

◎車の整備をよくし、故障車を運転しないさせない。

◎道路で作業したり、商品を路上に陳列したり、あるいは道路上で荷ほどき、荷造りなどをしてはいけません。

◎交通の妨害となるような方法で、物を道路に置いたり、違法な停車、駐車をしない。

◎工事をするときや、そのほかどうしても道路の一部を使わなければならないときは、道路を管理する者と、警察署長の許可を受ける。

町民のみなさん交通事故のない明るい新年を迎えるよう。

省選舉局長谷川憲治氏の講演に続いて、公明選挙運動の意義と歴史について、島憲氏による講演で三時間余りの長い講演でした。しかしも熱弁に魅せられながら感銘深く聞いたことは有益であった。午後は県下各地区代表による共同学習の実績発表があり午後四時閉会した。

第二日目の三日は三分科会に分かれ

一、地方選挙の公明化について

二、公明選挙推進組織と指導者との獲得について
三、政治に対する関心を深めるための具体的方法
の三テーマにより各分科会において六六討論による活潑な話し合いが行なわれ時間足らずのにぎやかな討議で午前中の会を終えた。
午後は全体会議で分科会のまとめを行ない会を閉めたが、二日間にわたる会を通じて感じたことをかんたんに記して見たい長谷川先生の講演の中から
一、日本人は上下のつながりで生活している。上とは努力は金力を意味する、英米では隣り同志のつきあいが重点で皆同じ神の子で下の関係は薄い。
二、英米の議員は日常よく努力し、運動会やは祝事祭等にはその度毎に電報を打ち寄附等をする。
三、女の貢献は誠に大事にされるが、公明選挙もそのようないく生活の中に這入つてこなければならぬ。
小島先生
一選挙違反が多いから公明選挙は駄目だと云うのは間違である。世論が盛んになれば警察官も遠慮せずどしどし違反を検挙するようにならなければならぬ。
郵便貯金はこの度二兆円の大台をこえましたが、郵便貯金預金者は俸給料生活者、個人事業主、主婦、学生等がありまして小口の貯金が多いのが特色です。
このように国民に身近な貯蓄の手段として親しまれていますが、その資金運用面について案外知られていない一面があります。
郵便貯金に預けられたお金は大蔵省運用部を通じ学校、道路、港湾住宅など種々の公共施設の建設その他国の政策遂行に欠くことの出来ない資金として使われています。
現在当加治木町にも一億一千九百六十円の融資をうけて町内各小中学校、住宅、道路、温泉などの拡充整備の施設に使われて住みよい郷土をつくる上に大きな貢献をしています。

違反の多いのはむしろ公明
選挙の結果であつて数字だけでは見るのは当らない。
二、後援会と云うのは会員が金を出すのであるが、選挙の後援会は候補者が金を出すことは逆でありよからぬことである。
三、日本の議会政治は七十五年になるが、まだ、軌道に乗つていらない相變らず政黨政治にあけくれている現状である。その原因として「明治二十年前後議会政治の型だけをとりつけて政治教育と云うものをしなかつた」である。
一、初めから議会政治と云うものでなく、従つて政党無視の政治になつてしまつたとをはきがえた。
以上三つが問題であり考えなければならないと思う。
次に六六村議において取り上げられた問題
一、地方自治において最も重要なことは、税金のことである。
しかし、選挙と云うことはこれに劣らぬ重大要事である。切に選挙事務局の独立並びに拡充と、その予算の拡大されることとヒモ付を排除すること。
以上のようない郵便貯金は国庫等に不可欠の財政投融資資金でありまして、その運行の良否が直接國の政策遂行に大きく影響するところからこの要請に応え、ただいまでは各省、政府関係機関、町役場、各種団体の協賛をいただいて廣汎な運動を展開いたしていきますので、皆様も郵便貯金の役割等を充分ご理解をいただき何分のご協力を賜わりますよう切にお願いするものであります。

(二)議会傍聴を広く一般に呼びかけ行政のあり方に認識を深める。
婦人会その他の会合において話し合いの場をつくり身近かな議題を取り上げ討議することにより政治意識の高揚につとめる。
以上二日間にわたる会の状況を報告申し上げ、本町の選挙公明化がさらに推進されるよう願うと共に、来年六月行なわれる参院選挙には有権者の皆さんのが少しでも公明選挙の成果を挙げることに努力されるよう希望しつつ報告を終わります。

(町公明選挙推進員入佐俊興)

年賀状と小包の出し方

①年賀状は町内あてと地方あてに別々にたばねて出してください。

②お年玉つき年賀はがき以外の年賀状は一通毎に表面に(年賀)と赤で書いてください。

③小包の包装はしつかりと途中でこわれないよう荷札は必ず二枚づつつけてください。

亡の場合、その倍の一〇〇万円、不慮災害による事故死の場合は一五〇万円を支払うというので、加入者が途中で万一死亡したときの、残された家族の生活保障または、子どもの進学・結婚資金としての加入目的を同時に満たすことのできるものでお客の要望を満足させることができま

す。

この保険は特別養老保険と名づけられ、保険期間は十五年と二十年の二種類になつておられます。この特別養老保険に加入できる人は、二十才から五十才までとなつていて、今まで簡易保険の加入率の悪かつた層に最も適したもので、この層の加入率を引上げることも新種保険を発売したねらいの一つになつてゐるのです。

ご存知でしょうか？

一、現代は十七秒に一人の出生率となり、交通事故による死者は三分ごとにどこか誰かが、交通事故にあり、一日平均三五人が命を落してゐます。

二、交通事故とともに増えているのが未亡人の数です。十八才未満のお子さまをかえた婦人の数は、百三十八万人にのぼり、このうち八割が戦争や病気や事故でご主人を亡くされた未亡人です。

財産があつて働かなくてもいい人は一割ちょっととすぎず、さつそく働かねばならない人が殆んどです。このようなママさん未亡人は四十才から四十九才までの年令層に一番多く四割強を占めています。パパに向つて、ママが急きよ、リーフに立つてもお母さんの給料はお話にならぬほど安く、食べるだけで精一杯です。ご家族をこんな目にあわせないよう、月々僅かなお金で百万二百万が保障される簡易保険には入つておきましょう。